

## < 中心市街地編 >

6月11日(日)、前日から降り続いた雨の中、デジカメを手に9人の名(迷)カメラマンが調布駅周辺布田1丁目～4丁目のまち歩きでした。午前中2時間、各人が区域の中を自在に歩き、気に入った風景、好きなスポット、気になる場所、残したい風景、歴史的遺跡、文化遺産などカメラに収めてきて、午後あくろすで「どのような観点で撮影したか」を写真をみながら発表することにしました。

区域は、京王線をはさんで北は甲州街道、南は品川通り、西は市役所前通りから東は布田駅の通りです。調布駅周辺は、京王線の地下化に伴う工事や南口再開発のビル工事が始まり今後10年間で大きくまちの景観と町並みが変わろうとしています。北側の区域では、地下化になった時の跡地を想像して現況を残す、調布の飲み屋、甲州街道をはじめとする道路、電信柱と電線が多く撮影され、南側ではまだまだ残っている生産緑地や畑、屋敷林など緑を中心とした景観を中心に8人8様の視点でまちが写しだされていました。総数230点は風景の中には、何人か重なるスポット、遺跡もありましたが、様々な景観の捉え方があるものだとみんなで、感心しきりでした。

嫌だなと思われたのが、電線、派手な看板、放置自転車、揃っていないスカイライン、残したいなというのが、お稲荷さん、屋敷林や畑、保存樹木、空の空間などです。駐車場が多くなった布田商店街の活性化が住宅街を変える、今は裏側になっている線路敷地並びの家並みをどうするか、空き地の住宅・集合住宅開発など、人の暮らしが変わると調布の景観や文化も変化してくることが予想されます。まちを歩くと放置自転車の迷惑や、自転車の歩道通行、ごみの散乱など市民のマナー向上も欠かせません。花の植え込みや緑の配置で歩く人を和ませてくれる風景も心に残りました。まちの景観をつくるのは、やはりそこに住んでいる人だとあらためて感じました。

個人ができること、行政ができること、事業者ができることの課題整理から、まちづくりや景観形成についても規制だけではない協働のしくみを考えていきたいものです。(安部宝根)



公共空地の活用の例



地下化工事が進む



南口たこ足公園と広場を眺める



南口広場の駐輪禁止看板前の  
放置自転車



調布駅東口のカラフルな看板



マンション前の植栽が見る人を  
和ませてくれる。



畑とマンション、屋敷林も見えて



道路脇のお稲荷さん



布田3丁目の屋敷林が緑のトンネルに



調布唯一の酪農家(布田3丁目)



布田3丁目の住宅



布田南通り南から踏切をみる



京王線地下化に伴って気になる景観  
京王線路沿いの脇道と住宅(小島町2)



住宅の裏側(国領5丁目)



線路沿いにアパートが並ぶ(布田2丁目)



マンション前の通路にもなる空間



自動販売機と看板



調布駅北口電通大に向かって

< 西調布編 >

7月9日(日)心配された雨も降らず、西調布駅から主に下石原1丁目~3丁目、京王線をはさんで北は甲州街道、南は若宮八幡神社、西は西調布駅通~東は鶴川街道までを8人で撮影して回りました。西調布駅周辺の昔ながらの商店街や飲み屋は生活感に溢れています。歴史的遺跡のあるお寺、公会堂などが行き止まりの私道など細い路地に面しているのは昔の宿場町の名残でしょうか。さらに北に行くと中央高速のガード下やインターチェンジ、交通量の多い甲州街道や鶴川街道などがあり味気ない風景になります。

南側は、住宅街がひろがりスカイラインが広がるので威圧感もなくのどかな雰囲気でした。「いかだ道」と名づけられた旧道はそれほど昔の名残もなく少しがっかりです。住宅街には生産緑地が多く残っていて、今後の相続の発生とともに都市農業の行く末が心配です。人を寄せ付けない三面張りの府中用水沿いは、府中崖線の緑が貴重な景観でした。しかし、今後の開発による途切れた崖線やはけ下

の工場地帯と住宅の混在などが検討課題として出されました。住宅街の中に突然現われるミニ開発、人が自由に入れない公園、保存樹木であったケヤキの無残な伐採方法、農道の点在と京王線の7つの踏み切りなどもまちづくりの合意形成が必要になってきます。

報告会では、ブロック塀より生垣が都市の緑の創出になる、隣家に続いた生垣がグリーンベルトになる、屋敷林や八幡神社、崖線の緑の厚みは残しておきたいが開発が迫っているので危機感がある、湧水の復活、道路と私有地の住宅境界線についての再考、フェンスや生垣の高さにも工夫が必要、一人ひとりの市民の工夫や協力とそれを誘導する助成制度や表彰などの施策で景観を形成する必要があるなどの意見や提案が出されました。

歴史遺跡を活用して、まちの回遊性を考えるとこの地域も楽しいのではないのでしょうか。歩いて発見、みて発見、色々な発見がある中、景観形成への提案の必要性をそれぞれが感じた一日でした。(安部宝根)



西調布駅と商店街



西調布駅近くの喫茶店



生垣の高さに工夫がある生垣



土塀と石積みの中の生垣と境界



生垣の連続が緑を創出



農道（私有地？）の先の踏み切り



府中崖線上下の密集した住宅



三面張りの府中用水



府中崖線・凸凹山公園と看板



中央高速と派手な看板



府中崖線下のミニ開発住宅



品川通り沿いの花いっぱい運動